

第5次 横浜市
男女共同参画
行動計画
2021-2025
概要版



性別にかかわらず 多様な選択を 実現できる社会を 目指して

少子高齢化が進み、人口減少社会を迎える中、豊かな市民生活や地域社会の持続的な発展のためには、多様な価値観を尊重しあい、すべての人の個性と能力が発揮される男女共同参画社会の実現が不可欠です。

グローバル化の進展や絶え間ない技術革新、そして新型コロナウイルス感染症拡大に伴う世界的な危機など、激動と不確実性の時代を乗り越えるためには、誰もが性別にかかわりなく、自分の希望に沿った形で、多様な選択を実現できることが重要です。

本計画では、「誰一人取り残さない」を基本理念とするSDGs(持続可能な開発目標)の視点を包括的に取り入れ、市民やNPO等の多様な主体、企業、地域社会と協働し、地域特性を踏まえた実効性ある施策を推進していきます。

働きやすい職場づくり
進んでいる?

ジェンダー平等
どう思う?

DVはどうして
なくなるらない?

女性の力、本当に
発揮されている?

コロナの影響で
家事の負担が増えた!

男性の働き方や家庭生活
変わってきた?

差別や格差
なくしたい!

仕事と家庭の両立
できている?

「女・男らしく」より
「私らしく」!



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

計画の位置づけ

横浜市男女共同参画行動計画は、横浜市男女共同参画推進条例に基づく行動計画であり、男女共同参画社会基本法、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律(DV防止法)、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)に規定する計画にあたります。

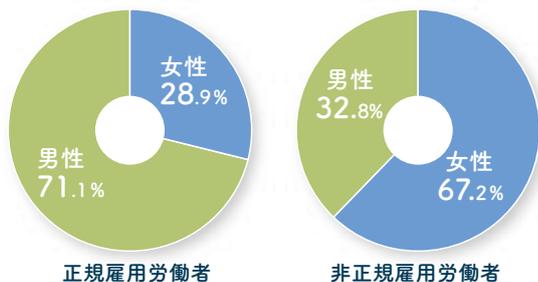


計画期間：令和3(2021)年度～令和7(2025)年度

実質的な男女格差、 コロナによる雇用情勢の悪化

- 働く女性は増えたが、働く実態として実質的な男女格差は大きく、様々な課題がある
- 新型コロナによる雇用情勢の悪化は、特に非正規職の多い女性へ大きく影響

正規雇用、非正規雇用の男女割合(横浜市)

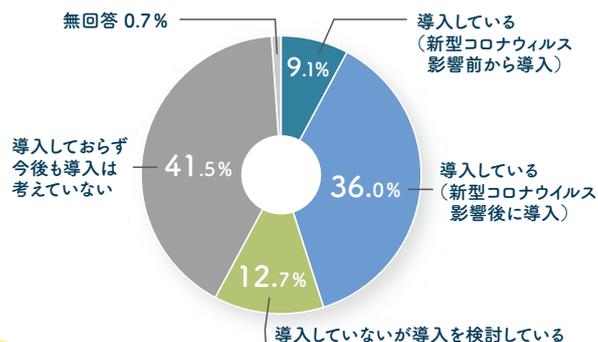


総務省「就業構造基本調査」(H29)から作成

誰もが働きやすい 職場づくりへの対応

- 中小企業では人員的に余裕がないことなどから、取組は道半ばの状態
- 新型コロナ対応により多様で柔軟な働き方の推進は、企業規模問わず喫緊の課題に

市内企業におけるテレワーク導入状況



横浜市「景況・経営動向調査 第113回(特別調査)」(R2.6月)から作成

横浜市の 現状と課題

性別にまつわる困難や リスクの顕在化

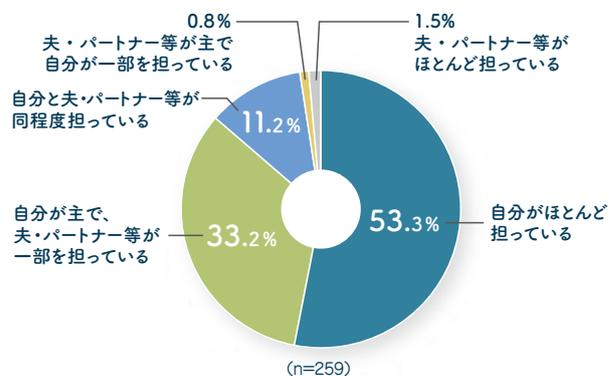
- DVや性暴力などの被害、経済的困窮など、特に女性において問題が深刻
- 新型コロナの影響により、性別にまつわる困難やリスクがさらに拡大



根強く残る 性別役割分担意識

- 「夫は仕事、妻は家庭」は薄れつつあるが、いまだ女性に家事育児等の分担が大きく偏る
- 外出自粛や在宅勤務への対応により、女性の負担増の一方、男性の役割に変化の兆し

夫・パートナーがいる働く女性の
家事・育児・介護の分担状況(横浜市)



横浜市「女性の就業ニーズ調査」(R1)から作成

政策

1

女性活躍の
さらなる推進

基本姿勢

1

SDGs(持続可能な開発目標)の
視点を踏まえた計画の推進

2

新型コロナウイルス感染症の
影響を踏まえた取組

3

市役所が率先する姿勢

政策

2

安全・安心な
暮らしの実現

政策

3

誰もが活躍できる
豊かな地域・社会づくり

行政運営

- ◆ 施策1 働きたい・働き続けたい
女性の活躍推進
- ◆ 施策2 誰もが働きやすい職場づくりや
社会環境づくり
- ◆ 施策3 市役所における女性活躍・
男女共同参画と働き方改革
- ◆ 施策4 DV防止とあらゆる暴力の根絶
- ◆ 施策5 困難を抱えた女性への自立支援
- ◆ 施策6 ライフステージに応じた
女性の健康支援
- ◆ 施策7 多様な性のあり方への支援と
理解の促進
- ◆ 施策8 男性の働き方改革と
家事・育児・介護への参画推進
- ◆ 施策9 地域・教育における
男女共同参画の推進
- ◆ 施策10 広報・啓発による意識改革と
機運醸成

計画の推進に係る体制整備

計画の指標

成果指標

男女共同参画社会の実現に向けて、
社会の達成状況を測るための数値
目標であり、行動計画全体に対して
設定します。

活動指標

行動計画に基づく取組の想定事業
量や、取組の進捗状況を測る統計
データであり、施策ごとに設定します。
⇒P.4～6に掲載しています。

成果指標	現状値	目標
管理職に占める女性の割合	市内企業 課長級以上 17.2%	★ 30%以上
	市役所責任職 課長級以上 17.9%	
	係長級以上 23.7%	
男性の育児休業・休暇取得率	市内企業 育児休業 17.6%	★ 30%
	市役所 育児休業 16.5%	★ 1か月以上 30%
	市役所 育児関連休暇 ^{※1} 78.0%	★ 100%
家庭生活において男女が平等に なっていると思う市民の割合	33.0% (男性40.9%、女性25.3%)	★ 10ポイント増
市民のDVの理解度 ^{※2}	精神的暴力 59.8% 性的暴力 74.1%	★ 各10ポイント増

※1 「配偶者の出産のための休暇」「男性職員の育児参加休暇」を3日以上

※2 男女共同参画に関する市民意識調査における、精神的暴力、性的暴力について「暴力にあたると思う」と答えた市民の割合

現状値 ▶ 計画策定時点に把握できている最新の数値です。

目標 ▶ 令和7年度までに達成を目指す数値です。目標年度が計画期間の途中年度となっている場合、その年度に到達した時点で目標値を見直します。

女性活躍のさらなる推進

◆ 施策 1

働きたい・働き続けたい女性の活躍推進

活動指標	現状値	目標
女性の就労支援窓口への相談件数	2,762件	★ 2,800件 (R3)
女性管理職登用に向けた取組を実施している企業の割合	21.4%	★ 30%
女性起業家の支援件数	1,345件 (R1単年度)	★ 6,000件 (R3-7累計)

主な取組

- 女性の就労支援
- 女性管理職の育成や登用促進
- 女性の起業と起業後の成長支援
- 働く女性のネットワークづくり

◆ 施策 2

誰もが働きやすい職場づくりや社会環境づくり

活動指標	現状値	目標
よこはまグッドバランス賞 認定企業数	199社	★ 300社
横浜健康経営認証制度 新規認証事業所数	585事業所 (H30-R2累計)	★ 785事業所 (H30-R7累計)
保育所等待機児童数	27人	★ 0人
ハラスメント対策を実施している企業の割合	36.8%	★ 50%

主な取組

- よこはまグッドバランス賞
- 働き方改革、多様で柔軟な働き方の推進
- 企業の取組支援(健康経営/SDGs)
- 公共調達等によるインセンティブの付与
- 仕事と育児・介護の両立に向けた環境づくり
- 男性の育児休業・休暇等の取得促進
- ハラスメント防止対策

◆ 施策 3

市役所における女性活躍・男女共同参画と働き方改革

活動指標	現状値	目標
市職員の年次休暇取得率 (10日以上)	市役所職員 75.9% 市立学校教職員 75.4%	★ 100%
市役所における女性職員の 係長昇任試験受験率(事務A区分)	21.9%	★ 50%
女性割合40%未満の附属機関数 (3人以下の附属機関を除く)	59機関	★ 30機関

主な取組

- 市役所における女性活躍と誰もが働きやすく働きがいのある組織の実現
- 技術・技能系職場等における女性活躍の推進
- 学校現場における教職員の働き方改革
- ハラスメント防止対策
- 市附属機関への女性参画比率の向上

◆ 施策 4

DV防止とあらゆる暴力の根絶

活動指標	現状値	目標
DVに関する相談窓口の認知度	70.6%	◆ 80%
DVに関する相談件数	4,604件	◆ 5,300件 (R6)

主な取組

- DVの相談支援体制の充実
- DV被害者の自立に向けた支援
- 加害者対応に関する取組
- DV防止・暴力の根絶に向けた正しい理解の普及
- 若年層におけるデートDV防止と理解促進・性暴力に関する啓発
- 児童虐待対応との連携強化
- 性暴力・性犯罪への対応

◆ 施策 5

困難を抱えた女性への自立支援

活動指標	現状値	目標
市の支援事業によるひとり親の就労数	337人	◆ 2,300人 (R2-6累計)

主な取組

- 若年無業や非正規職シングル女性への支援
- ひとり親家庭の女性への就労支援・自立支援
- 性別に関わる問題の解決に向けた相談・支援
- 外国人等への支援
- 障害者等への支援
- 自助グループ支援

◆ 施策 6

ライフステージに応じた女性の健康支援

活動指標	現状値	目標
産婦健康診査の受診率	83.4%	◆ 89.0% (R6)
子宮頸がん・乳がん検診の受診率	子宮頸がん 52.2%	◆ 各50%維持 (R4)
	乳がん 51.6%	

主な取組

- 誰もが安心して出産・子育てができる環境づくり
- 女性特有のがん対策
- 健康づくり・介護予防・高齢者の支援
- 性に関する適切な教育、妊娠・出産・不妊に関する正しい知識の普及啓発
- 女性特有の健康課題へのアプローチ

◆ 施策 7

多様な性のあり方への支援と理解の促進

活動指標	現状値	目標
多様な性のあり方を理解している市民の割合	70.9%	◆ 80%

主な取組

- 研修・教育・啓発の推進
- 相談・支援事業
- パートナーシップ宣誓制度

◆ 施策 8

男性の働き方改革と家事・育児・介護への参画推進

活動指標	現状値	目標
平日・共働き世帯における女性と男性の家事・育児・介護時間の割合	4 : 1	★ 3 : 1
地域の父親育児支援講座の参加者数	728人	★ 7,640人 (R2-6累計)

主な取組

- 男性の家事・育児・介護への参画推進
- 家事・育児の負担軽減に向けた社会資源の活用
- 市民向けワーク・ライフ・バランスの普及・啓発

◆ 施策 9

地域・教育における男女共同参画の推進

活動指標	現状値	目標
「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」とは考えない市民の割合	53.4%	★ 10ポイント増
女性の視点を取り入れた地域防災訓練を実施している地域防災拠点数	163/459 拠点	★ 230拠点

主な取組

- 地域活動等における多様な人材の活躍推進
- 地域防災における男女共同参画の推進
- 教育における男女共同参画の推進と若い世代の理解促進
- 市民団体等の育成・連携

◆ 施策 10

広報・啓発による意識改革と機運醸成

活動指標
施策10は、施策1～9を広報・啓発の面から集約した施策であるため、活動指標は設定しません。

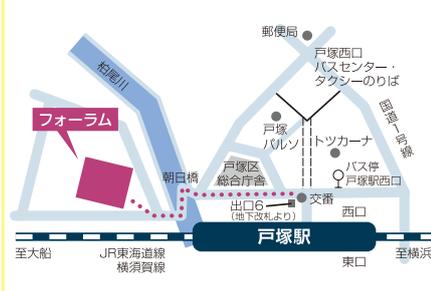
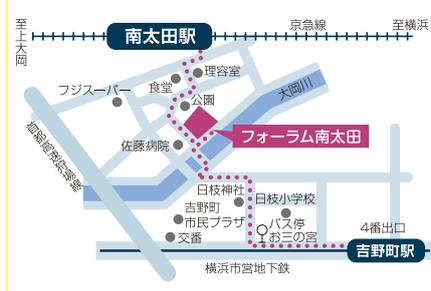
主な取組

- 男女共同参画推進に関する広報・啓発
- ライブラリの運営及び調査・研究
- 国等や他自治体、関係団体との連携
- 国際的な連携や情報発信

計画の推進に係る体制整備

公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会と連携し、横浜市男女共同参画センターを拠点とした、男女共同参画や女性活躍推進、ジェンダーにまつわる困難の解消に向けた取組・事業を進めます。また、庁内外における推進体制を整備し、適切に運営します。

横浜市男女共同参画センター

 <p>フォーラム 【男女共同参画センター横浜】</p>  <p>所在地 戸塚区上倉田町435-1 ☎045-862-5050 交通 JR・市営地下鉄「戸塚駅」徒歩5分 開館時間 9:00~21:00 日曜・祝日 9:00~17:00 休館日 毎月第4木曜・年末年始</p>	 <p>フォーラム南太田 【男女共同参画センター横浜南】</p>  <p>所在地 南区南太田1-7-20 ☎045-714-5911 交通 京急線「南太田駅」徒歩3分 市営地下鉄「吉野町駅」徒歩7分 開館時間 9:00~21:00 休館日 毎月第3月曜・年末年始</p>	 <p>アートフォーラム あざみ野 【男女共同参画センター横浜北】</p>  <p>所在地 青葉区あざみ野南1-17-3 ☎045-910-5700 交通 市営地下鉄・東急田園都市線「あざみ野駅」徒歩5分 開館時間 9:00~21:00 日曜・祝日 9:00~17:00 休館日 毎月第4月曜・年末年始</p>
--	---	--

※開館時間等、変更になる場合がございます。

計画に掲載されている相談窓口

内容	窓口
就労相談	<ul style="list-style-type: none"> ■ 男女共同参画センター「女性としごと 応援デスク」 ■ 横浜市就職サポートセンター
経営・創業相談	<ul style="list-style-type: none"> ■ 男女共同参画センター「女性起業UPルーム」 ■ (公財)横浜企業経営支援財団(IDEC横浜)
ハラスメント相談	<ul style="list-style-type: none"> ■ 男女共同参画センター「女性としごと 応援デスク」
DVIに関する相談	<ul style="list-style-type: none"> ■ 横浜市DV相談支援センター ■ かながわDV相談LINE ■ <安全対策・緊急時>警察 ■ 18区役所 こども家庭支援課 ■ DV相談+（ぶらす）
性暴力・性犯罪被害に関する相談	<ul style="list-style-type: none"> ■ かながわ性犯罪・性暴力被害者ワンストップ支援センター(かならいん) ■ 横浜市犯罪被害者相談室
ひとり親相談	<ul style="list-style-type: none"> ■ ひとり親サポートよこはま ■ ジョブスポット ※18区役所内に設置 ■ 18区役所 こども家庭支援課
暮らしの中の男女共同参画に関わる相談	<ul style="list-style-type: none"> ■ 男女共同参画センター「心とからだと生き方の総合相談」
性差別等の相談	<ul style="list-style-type: none"> ■ 男女共同参画センター「男女共同参画に関する人権侵害相談・申出制度」
妊娠・出産の不安や悩み相談	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「にんしんSOSヨコハマ」 ■ 18区役所 こども家庭支援課
不妊・不育に関する相談	<ul style="list-style-type: none"> ■ <専門相談・予約制>横浜市こども青少年局こども家庭課 ■ <一般相談>18区役所 こども家庭支援課
性的少数者の相談	<ul style="list-style-type: none"> ■ よこはまLGBT相談

掲載情報は令和3年3月現在のものです。
問合せ先など詳細については、横浜市ウェブサイト(右記QRコード)で最新情報をご確認ください。



令和3年3月

横浜市政策局男女共同参画推進課

〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10 電話:045-671-2017 FAX:045-663-3431 電子メール ss-danjo@city.yokohama.jp